

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成21年8月7日

【四半期会計期間】 第124期第1四半期(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

【会社名】 Biofermin製薬株式会社

【英訳名】 BIOFERMIN PHARMACEUTICAL CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤本 孝明

【本店の所在の場所】 神戸市長田区三番町五丁目5番地

【電話番号】 神戸(078)575-5501 代表

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 北原 弘雄

【最寄りの連絡場所】 神戸市長田区三番町五丁目5番地

【電話番号】 神戸(078)575-5501 代表

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 北原 弘雄

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
Biofermin製薬株式会社東日本支店
(東京都中央区日本橋3丁目14番3号)

(注) 当社東日本支店は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次		第123期 第1四半期 累計(会計)期間	第124期 第1四半期 累計(会計)期間	第123期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 6月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 6月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高	(千円)	2,196,642	2,112,655	8,539,113
経常利益	(千円)	567,029	725,514	2,154,965
四半期(当期)純利益	(千円)	334,029	427,514	1,379,374
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,227,000	1,227,000	1,227,000
発行済株式総数	(千株)	12,154	12,154	12,154
純資産額	(千円)	15,980,727	16,618,489	16,560,500
総資産額	(千円)	19,732,850	20,030,361	19,893,433
1株当たり純資産額	(円)	1,366.17	1,391.14	1,386.27
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	28.56	35.79	117.72
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			64.00
自己資本比率	(%)	80.9	82.9	83.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	445,102	98,044	2,188,694
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	69,416	108,723	726,372
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	333,884	367,151	315,844
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,421,112	5,147,957	5,525,788
従業員数	(名)	151	163	148

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 当社は子会社および関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資損益を記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社及び親会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数(名)	163
---------	-----

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数にはパートタイマーを含めておりません。
3 従業員数が、当第1四半期会計期間において15名増加しております。これは主として新規採用を行ったことによるものであります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
新ビオフェルミンS	1,228,396	1.9
ビオフェルミン止瀉薬	40,144	10.5
ビオフェルミン下痢止め	36,826	0.6
ビオフェルミン健胃消化薬錠	15,360	211.9
ビオフェルミンVC	25,234	37.5
ビオフェルミン便秘薬		100.0
ビオフェルミンR	230,885	7.6
ビオフェルミン	335,613	4.7
ビオフェルミン錠剤	223,550	36.1
ビオスミン	8,363	0.1
健康食品	50,247	29.7
動物用ビオフェルミン	2,808	80.6
合計	2,197,431	0.3

- (注) 1 金額は、当社の販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 ビオフェルミン下痢止めおよびビオフェルミン錠剤は、株式会社陽進堂に生産を委託しております。

(2) 受注実績

当社は製品ごとの販売計画を基準として生産計画を立案し、これによって生産を行っているため、受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
新ビオフェルミンS	1,120,295	10.8
ビオフェルミン止瀉薬	26,546	22.9
ビオフェルミン下痢止め	33,102	9.0
ビオフェルミン健胃消化薬錠	7,088	50.0
ビオフェルミンVC	16,055	46.5
ビオフェルミン便秘薬	9,197	5.7
ビオフェルミンR	256,467	3.7
ビオフェルミン	348,648	2.1
ビオフェルミン錠剤	232,988	39.2
ビオスミン	4,795	24.6
健康食品	53,810	36.5
動物用ビオフェルミン	3,744	75.0
その他	83	
合計	2,112,655	3.8

(注) 1 上記の「その他」は、平成20年3月末で製造販売を中止したピオピコ錠の販売実績であり、当第1四半期会計期間においては返品のみが発生しておりますので、販売高がマイナスとなっております。

2 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期会計期間		当第1四半期会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
武田薬品工業株式会社	2,142,232	97.5	2,055,101	97.3

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期の大衆向製品においては、景気悪化の煽りを受け、主力である「新BioフェルミンS」が前年同四半期比1億3千6百万円、10.8%の減少となったほか、その他の大衆向製品も前年同四半期に比べ減少となり、大衆向製品全体で前年同四半期比1億6千7百万円、12.1%の減少となりました。

医療用医薬品は市場構築が進み、「Bioフェルミン錠剤」が前年同四半期比6千5百万円、39.2%の増加と引き続き順調に推移したことにより、医療用医薬品全体で前年同四半期比8千万円、10.6%の増加となりました。

動物用医薬品、乳酸菌バルクを含めた売上高全体では、21億1千2百万円（前年同四半期比8千3百万円、3.8%の減少）となりましたが、前年同四半期に比べ販売促進関係費用を抑制し、経費の節減等に努めましたことにより、営業利益は6億9千万円（前年同四半期比1億5千3百万円、28.7%の増加）、経常利益は7億2千5百万円（前年同四半期比1億5千8百万円、28.0%の増加）、四半期純利益は4億2千7百万円（前年同四半期比9千3百万円、28.0%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前事業年度末に比べて1億3千6百万円増加し、当第1四半期会計期間末における残高は、200億3千万円となりました。

流動資産は、売掛金の増加があったものの、有形固定資産の取得等による現金及び預金の減少が主な要因となり、前事業年度末に比べて2億5千7百万円減少し、当第1四半期会計期間末における残高は、105億3千7百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の取得による増加や、当社保有株式の時価の増加による投資有価証券の増加があったこと等により、前事業年度末に比べて3億9千4百万円増加し、当第1四半期会計期間末における残高は、94億9千3百万円となりました。

負債は、未払法人税等の支払による減少や賞与引当金の取崩による減少等があったものの、買掛金、未払金の増加や繰延税金資産の増加等があったことが主な要因となり、前事業年度末に比べて7千8百万円増加し、当第1四半期会計期間末における残高は、34億1千1百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、別途積立金の積み増しによる利益剰余金の増加や当社保有株式の時価の増加によるその他有価証券評価差額金の増加があったこと等により、前事業年度末に比べて5千7百万円増加し、当第1四半期会計期間末における残高は、166億1千8百万円となり、自己資本比率は82.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、51億4千7百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動による資金の増加は、9千8百万円(前年同四半期は4億4千5百万円の増加)となりました。

これは、税引前四半期純利益が7億2千5百万円(前年同四半期は5億6千7百万円)と順調であったものの、売上債権の増加や賞与引当金の減少、法人税等の支払額があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動による資金の減少は、1億8百万円(前年同四半期は6千9百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得により1億6百万円の支出(前年同四半期は6千9百万円の支出)があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動による資金の減少は、3億6千7百万円(前年同四半期は3億3千3百万円の減少)となりました。

これは、取締役会決議により3億6千6百万円の利益配当金の支払を行ったこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当会社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期会計期間の研究開発費の総額は、59,717千円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前事業年度末に計画中であった重要な設備の新設のうち当第1四半期会計期間において完了したものとおよび当第1四半期会計期間において新たに確定した重要な設備の新設の計画は以下のとおりであります。

なお、前事業年度末に計画中または実施中であった重要な設備の除却の計画および当第1四半期会計期間において新たに確定した重要な設備の除却の計画はありません。

前事業年度末に計画中であった重要な設備の新設のうち、当第1四半期会計期間において完了したものの

設備名	予算金額 (千円)	既支払額 (千円)	着手年月	完成年月	完成後の 生産能力
タンパーシール機	42,600	42,600	平成21年 3月	平成21年 6月	老朽化による更新
流動造粒乾燥機用空調機	12,037	12,037	平成20年 12月	平成21年 5月	老朽化による更新
計	54,637	54,637			

(注) 1 上表の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 所要資金は、全額自己資金及び自己株式の処分による取得資金にてまかないました。

当第1四半期会計期間において新たに確定した重要な設備の新設の計画

設備名	予算金額 (千円)	既支払額 (千円)	今後の 所要資金 (千円)	着手年月	完成予定 年月	完成後の 生産能力
錠剤検査装置	63,600		63,600	平成21年 6月	平成21年 10月	生産能力の増強
計	63,600		63,600			

(注) 1 上表の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 今後の所要資金につきましては、全額自己資金にてまかなう予定であります。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,154,000	12,154,000	大阪証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	12,154,000	12,154,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年6月30日		12,154		1,227,000		734,457

(5) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成21年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成21年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 207,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,927,300	119,273	
単元未満株式	普通株式 18,800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	12,154,000		
総株主の議決権		119,273	

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式51株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成21年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ビオフェルミン製薬株式 会社	神戸市長田区三番町五丁 目5番地	207,900		207,900	1.7
計		207,900		207,900	1.7

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月
最高(円)	1,707	1,706	1,780
最低(円)	1,575	1,570	1,660

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第1四半期会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び当第1四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、また、当第1四半期会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び当第1四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,247,957	6,625,788
売掛金	3,728,265	3,623,420
製品	184,471	177,467
仕掛品	83,870	94,220
原材料及び貯蔵品	89,265	78,328
繰延税金資産	187,388	187,388
その他	15,885	7,828
流動資産合計	10,537,106	10,794,440
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,810,188	5,484,837
減価償却累計額	2,580,105	2,513,128
建物(純額)	3,230,083	2,971,709
構築物	242,081	242,081
減価償却累計額	131,841	127,353
構築物(純額)	110,239	114,727
機械及び装置	4,305,830	4,273,208
減価償却累計額	3,677,641	3,669,654
機械及び装置(純額)	628,188	603,554
車両運搬具	5,710	5,710
減価償却累計額	5,174	5,085
車両運搬具(純額)	535	624
工具、器具及び備品	462,147	459,898
減価償却累計額	369,744	360,377
工具、器具及び備品(純額)	92,402	99,520
土地	3,253,750	3,253,750
建設仮勘定	388,311	409,638
有形固定資産合計	7,703,512	7,453,525
無形固定資産		
投資その他の資産	13,608	14,721
投資有価証券	1,761,259	1,617,907
従業員に対する長期貸付金	3,740	1,780
その他	11,690	11,752
貸倒引当金	555	694
投資その他の資産合計	1,776,134	1,630,745
固定資産合計	9,493,255	9,098,992
資産合計	20,030,361	19,893,433

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,216	41,576
未払金	1,446,118	1,037,635
未払法人税等	305,312	555,655
預り金	65,892	9,812
返品調整引当金	9,200	9,200
販売促進引当金	27,000	69,000
賞与引当金	52,033	178,712
役員賞与引当金	17,500	70,000
流動負債合計	1,981,274	1,971,592
固定負債		
繰延税金負債	968,105	909,331
退職給付引当金	230,630	224,399
役員退職慰労引当金	231,861	227,608
固定負債合計	1,430,597	1,361,339
負債合計	3,411,871	3,332,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,000	1,227,000
資本剰余金	752,607	752,607
利益剰余金	14,236,468	14,262,903
自己株式	312,927	312,774
株主資本合計	15,903,148	15,929,737
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	715,341	630,763
評価・換算差額等合計	715,341	630,763
純資産合計	16,618,489	16,560,500
負債純資産合計	20,030,361	19,893,433

(2)【四半期損益計算書】
 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,196,642	2,112,655
売上原価	617,201	629,882
売上総利益	1,579,441	1,482,773
販売費及び一般管理費		
販売促進費	38,860	30,816
販売促進引当金繰入額	32,000	27,000
発送費	12,167	10,222
広告宣伝費	719,575	461,887
役員報酬	23,760	30,090
給料及び手当	71,998	72,202
賞与引当金繰入額	22,657	23,151
役員賞与引当金繰入額	15,000	17,500
退職給付費用	2,738	2,247
役員退職慰労引当金繰入額	4,202	4,427
福利厚生費	14,448	12,213
減価償却費	5,548	6,000
研究開発費	44,405	59,717
その他	35,736	35,034
販売費及び一般管理費合計	1,043,099	792,511
営業利益	536,342	690,261
営業外収益		
受取利息	2,111	1,967
受取配当金	33,155	33,599
雑収入	1,932	1,985
営業外収益合計	37,199	37,551
営業外費用		
寄付金	285	15
固定資産除却損	215	1,914
支払手数料	5,664	-
雑損失	347	369
営業外費用合計	6,511	2,299
経常利益	567,029	725,514
税引前四半期純利益	567,029	725,514
法人税等	233,000	298,000
四半期純利益	334,029	427,514

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	567,029	725,514
減価償却費	129,649	126,403
賞与引当金の増減額(は減少)	128,437	126,678
役員賞与引当金の増減額(は減少)	45,000	52,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,326	6,230
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	13,603	4,252
貸倒引当金の増減額(は減少)	-	138
その他の引当金の増減額(は減少)	36,000	42,000
受取利息及び受取配当金	35,266	35,566
受取賃貸料	1,319	1,368
固定資産除却損	215	1,914
売上債権の増減額(は増加)	41,525	104,844
たな卸資産の増減額(は増加)	12,596	7,593
仕入債務の増減額(は減少)	12,504	16,639
未払金の増減額(は減少)	427,150	189,700
未払消費税等の増減額(は減少)	43,458	102,406
その他	16,159	4,357
小計	845,772	601,917
利息及び配当金の受取額	31,867	32,282
賃貸料の受取額	1,319	1,368
法人税等の支払額	433,856	537,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,102	98,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	69,555	106,825
その他	138	1,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,416	108,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	285	153
自己株式の売却による収入	120	-
配当金の支払額	333,719	366,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	333,884	367,151
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	41,801	377,830
現金及び現金同等物の期首残高	4,379,310	5,525,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,421,112	5,147,957

【継続企業の前提に関する注記】

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
棚卸資産の評価方法 当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
税金費用の計算 当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)

(四半期損益計算書関係)

第1四半期累計期間

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 5,321,112千円	現金及び預金 6,247,957千円
預入期間が3か月超の定期預金 900,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 1,100,000千円
現金及び現金同等物 4,421,112千円	現金及び現金同等物 5,147,957千円

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	12,154,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	208,042

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年5月14日 取締役会	普通株式	繰越利益剰余金	453,949	38.00	平成21年3月31日	平成21年6月26日

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社がありませんので、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1,391円14銭	1,386円27銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	16,618,489	16,560,500
普通株式に係る純資産額(千円)	16,618,489	16,560,500
普通株式の発行済株式数(千株)	12,154	12,154
普通株式の自己株式数(千株)	208	207
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	11,945	11,946

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益 28円56銭	1株当たり四半期純利益金額 35円79銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円 銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	334,029	427,514
普通株式に係る四半期純利益(千円)	334,029	427,514
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,697	11,945

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第123期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)期末配当については、平成21年5月14日開催の取締役会において、平成21年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次の通り期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	453,949千円
1株当たりの配当金	38円00銭(普通配当34円 特別配当4円)
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成21年6月26日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年 8月 6日

Bioフェルミン製薬株式会社
 取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井 堂 信 純 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳 承 煥 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂 井 浩 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている Bioフェルミン製薬株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第123期事業年度の第1四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、 Bioフェルミン製薬株式会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月 5日

Bioフェルミン製薬株式会社
 取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳 承 煥 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 木 勇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている Bioフェルミン製薬株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第124期事業年度の第1四半期会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、 Bioフェルミン製薬株式会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。